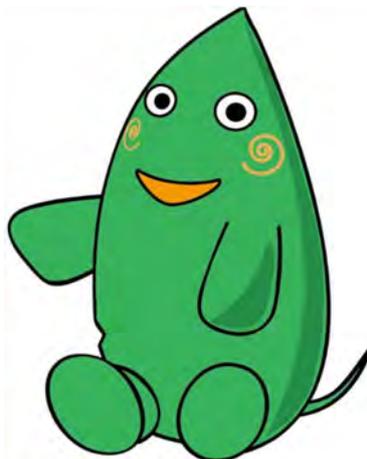


10. 関連機関

社会福祉法人 大和市社会福祉協議会
公益社団法人 大和市シルバー人材センター



大和市イベントキャラクター「ヤマトン」

大和市社会福祉協議会 (1)

	ページ	財 源 内 訳			
		県社協	県共募	市	社協
1. 社会福祉法人 大和市社会福祉協議会	322				
(1) 財政	322			○	○
(2) 組織	323			○	○
(3) 社協会員会費	324				○
(4) 善意銀行	324				○
(5) 共同募金	325		○		
2. 障がい者の福祉	325				
(1) 心身障がい者施設、団体への助成	325		○		
(2) 生活福祉資金の貸付	325	○			
(3) 車いすの貸出	325				○
(4) 年末たすけあい募金の配分	325		○		
(5) 日常生活自立支援事業（大和あんしんセンター）	326	○		○	
ア. 書類等預かりサービス	326	○		○	
イ. 福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス	326	○		○	
(6) 法人後見事業（大和あんしんセンター）	326				○
3. 高齢者の福祉	326				
(1) 老人福祉団体への助成	326		○		
(2) ふれあいネットワーク事業（地区社協活動支援分）	326			○	
ア. ふれあい訪問事業	326			○	
イ. ミニサロン事業	326			○	
ウ. 個別支援事業	327			○	
(3) 生活福祉資金の貸付	327	○			
(4) 理髪サービス事業	327				○
(5) ふれあいネットワーク事業（ひまわりサロン運営支援分）	327			○	
(6) 日常生活自立支援事業（大和あんしんセンター）	327	○		○	
(7) 法人後見事業（大和あんしんセンター）	327				○
4. 児童・母子の福祉	328				

対 象 年 齢	根 拠 法 令 等	事業開始年月	主 管 課
	社会福祉法人大和市社会福祉協議会定款	S54. 4	総 務 課
	//	//	//
	//	//	//
	//	//	//
	社会福祉法人神奈川県共同募金会大和市支会の設置及び運営に関する規程	H 2.10	県 共 同 募 金 会 大 和 市 支 会
	福祉活動助成金交付要綱	H 1. 4	地 域 支 援 課
	生活福祉資金貸付業務取扱要領	H 2.10	生 活 支 援 課
	車椅子貸出事業実施要綱	S54. 4	ボ ラ ン テ ィ ア セ ン タ ー
	年末たすけあい運動に関する要綱	H 2.12	地 域 支 援 課
	日常生活自立支援事業実施要綱	H10.10	生 活 支 援 課
	//	//	//
	//	//	//
	法人後見事業実施要綱	H26. 4	//
	福祉活動助成金交付要綱	H 1. 4	地 域 支 援 課
65歳～	大和市ふれあいネットワーク事業（地区社協活動支援分）実施要領	R 6. 4	//
	//	//	//
	//	//	//
	//	//	//
	生活福祉資金貸付業務取扱要領	H 2.10	生 活 支 援 課
	寝たきり高齢者、重度障がい者等理髪サービス事業実施要綱	S53. 4	ボ ラ ン テ ィ ア セ ン タ ー
65歳～	大和市ふれあいネットワーク事業（ひまわりサロン運営支援分）実施要領	R 6. 4	地 域 支 援 課
	日常生活自立支援事業実施要綱	H10.10	生 活 支 援 課
	法人後見事業実施要綱	H26. 4	//

大和市社会福祉協議会 (2)

	ページ	財源内訳			
		県社協	県共募	市	社協
(1) 交通遺児援護金の支給	328				○
(2) 生活福祉資金の貸付	328	○			
(3) 母子福祉団体への助成	328		○		
(4) 年末たすけあい募金の配分	328		○		
5. 低所得者の福祉	328				
(1) 緊急生活資金貸付	328				○
(2) 生活福祉資金貸付	328	○			
(3) 行旅人旅費等の援助	329				○
(4) 生活困窮者自立支援事業	329			○	
(5) 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業	329			○	
6. 地域福祉	329				
(1) 地区社協育成・支援事業	329		○	○	○
(2) 広報調査活動	331		○		○
(3) 年末たすけあい募金の配分	331		○		○
(4) 成年後見制度利用促進事業	331			○	
(5) 地域福祉セミナーやまとの開催	332		○		○
(6) ボランティアセンター事業	332			○	○
(7) 緊急援護実施事業	335		○		○
(8) 物品貸出事業	336				○
(9) 災害ボランティアセンター運営関連事業	336				○
(10) 地区社協区割図	338				○

対 象 年 齢	根 拠 法 令 等	事業開始年月	主 管 課
0歳～20歳未満	かながわ交通遺児援護基金設置運営要綱	H 2.10	総 務 課
	生活福祉資金貸付業務取扱要領	H 2.10	生 活 支 援 課
	福祉活動助成金交付要綱	H 1. 4	地 域 支 援 課
	年末たすけあい運動に関する要綱	H 2.12	//
	緊急生活資金貸付金に関する要綱	S51. 4	生 活 支 援 課
	生活福祉資金貸付業務取扱要領	H13.11	//
	行旅人援護事業実施要領	H15. 4	//
	生活困窮者自立支援法	H27. 4	//
	大和市新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業実施要綱	R 3. 7	//
			地 域 支 援 課
			//
	年末たすけあい運動に関する要綱	H 2.12	//
	老人福祉法 成年後見制度の利用の促進に関する法律	H30. 4	生 活 支 援 課
			地 域 支 援 課
	やまとボランティアセンターの設置、管理及び運営に関する要綱	R 7. 4	ボ ラ ン テ ィ ア セ ン タ ー
	災害見舞金等支給要綱	S62. 4	総 務 課
	貸出物品取扱要綱	S52. 4	ボ ラ ン テ ィ ア セ ン タ ー
			地 域 支 援 課

大和市シルバー人材センター

	ページ	財 源 内 訳			
		国	県	市	シハ-
1. 公益社団法人大和市シルバー人材センター	339				
(1) 組織	339	○		○	○
(2) 施設所在・規模	339	○		○	○
(3) センターとは	339	○		○	○
(4) 事業実績	340	○		○	○

対 象 年 齢	根 拠 法 令 等	事業開始年月	主 管 課
60歳～	公益社団法人大和市シルバー人材センター定款	H 2. 4	シ ル バ ー 人 材 セ ン タ ー
			//
			//
			//

1. 社会福祉法人 大和市社会福祉協議会（略して「社協」）

昭和 52 年 4 月に社会福祉法人となった社協は、「地域住民が主体となって活動できる場づくり」を目標に、民間福祉団体の中核として市行政の理解と市民の皆様の協力を支えられ、様々な地域福祉活動や在宅福祉サービスの推進に取り組んできている。

「住民ひとりひとりの参加を基本に共に支えあう福祉のまちづくり」を基本理念に、地区社会福祉協議会活動やボランティア活動の支援、多様な生活福祉課題に対する相談援助やサービス利用支援、そして、在宅福祉サービスの実施等、幅広い領域において地域福祉事業を展開してきている。

令和 7 年度は、さらに住民主体・住民参加の地域福祉推進に向けて、市行政、地区社会福祉協議会、福祉施設、福祉団体等との連携を密に、地域に根ざした社協活動を積極的に推進していく。

(1) 財政

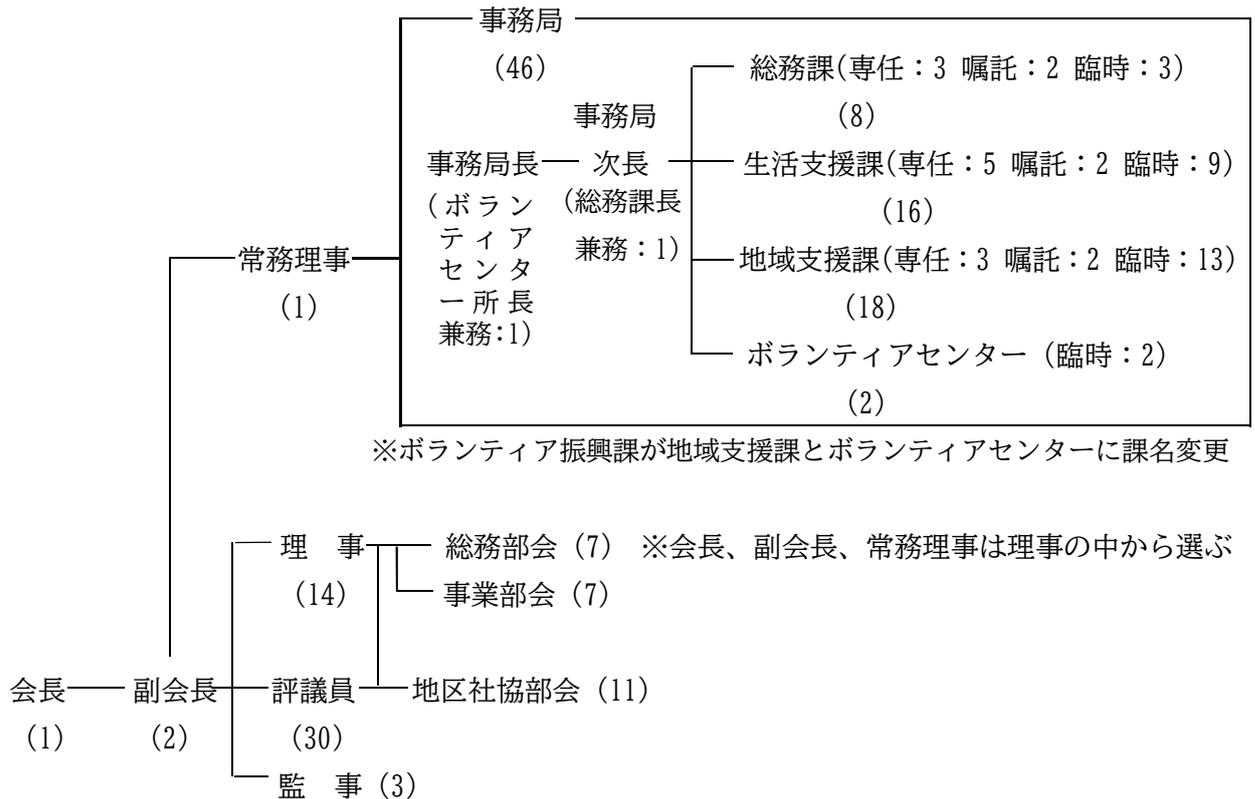
社協の事業は、会員の会費、共同募金の配分金、善意の寄託金及び市・県の補助金で賄われている。

令和 7 年度予算総括表

		当初予算 (円)
社 会 福 祉 事 業 区 分		281,024,000
本 部	法人運営	138,378,000
	善意銀行運営事業	2,994,000
	会員募集事業	7,397,000
	広報啓発事業	12,013,000
	緊急貸付事業	375,000
	生活福祉資金事務事業	5,727,000
	生活困窮者自立支援事業	21,362,000
	日常生活自立支援事業	10,866,000
	法人後見事業	974,000
	成年後見制度利用促進事業	20,489,000
福 祉 セ ン タ ー	一般共同募金配分事業	2,330,000
	年末たすけあい配分事業	4,407,000
	地域福祉活動推進事業	13,243,000
	障がい者支援事業	1,535,000
	ふれあいネットワーク事業 (ひまわりサロン運営支援分)	29,402,000
	ふれあいネットワーク事業 (地区社協活動支援分)	7,389,000
	地域福祉援護事業	2,143,000
収 益 事 業 区 分		5,225,000
合 計		286,249,000

(2) 組織

令和7年4月1日現在



各種委員会等

- ・評議員選任・解任委員会(3)
- ・善意銀行運営委員会 (9)
- ・広報委員会 (6)
- ・ボランティアセンター運営委員会 (11)
- ・地域福祉活動計画推進委員会 (13)
- ・法人後見事業審査会(5)
- ・苦情解決調整委員会(3)
- ・受任調整会議(4)
- ・年末たすけあい寄附金配分委員会(7)

※()内は人数

大和市社会福祉協議会

(3) 社協会員会費

会員制度は、市民や事業所等が、社協の組織や社協が行う諸活動への理解のもとに社協の事業活動に直接又は間接的に参画してもらうための制度であり、その会費は、貴重な自主財源となっている。

加入状況

(単位：円)

会 員 種 類			4	5	6
自治会内会費	一般会費	1世帯300円/年額	11,974,971	11,724,852	11,420,705
	賛助会費	1口 1,000円/年額	979,000	898,000	842,000
	特別会費	1口 5,000円/年額	175,000	115,000	130,000
	自治会内会費収入計		13,128,971	12,737,852	12,392,705
自治会外特別会費収入			1,308,110	1,326,000	1,270,000
種別会費収入			786,000	771,000	841,000
合 計			15,223,081	14,834,852	14,503,705

(総務課)

(4) 善意銀行

市民の善意による寄附金を地域福祉の推進、ボランティアの育成・支援及び援護を必要とする人々に役立っている。

善意の寄附金状況

	4		5		6	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
社会福祉のために	330	5,328,667	96	3,646,340	106	5,105,419
障がい者福祉のために	15	86,000	13	66,000	16	86,460
交通遺児基金へ	1	39,000	1	50,000	3	67,460
指 定 寄 附	31	591,400	34	1,768,968	48	1,102,798
合 計	377	6,045,067	144	5,531,308	173	6,362,137

(総務課)

(5) 共同募金

市民の皆様の善意の寄附金を、社会福祉施設及び団体等に配分し、援助しようとする運動である。

募金方法別金額

(単位：円)

	赤い羽根募金			年末たすけあい募金		
	4	5	6	4	5	6
法人募金	1,947,603	1,804,913	1,735,074	—	—	—
個人大口募金	590,000	529,000	456,000	—	—	—
戸別募金	9,062,394	8,906,574	8,273,206	5,004,155	4,601,702	4,700,022
街頭募金	356,270	497,097	526,936	368,435	356,246	402,130
職域募金	691,356	604,062	599,864	129,484	169,000	145,315
学校校内募金	276,811	196,982	287,838	65,469	159,413	80,950
預金利子	12	12	2,411	6	10	3
その他	244,902	289,732	337,593	252,075	276,237	262,329
合計	13,169,348	12,828,372	12,218,922	5,819,624	5,562,608	5,590,749

(県共募大和市支会＝総務課)

2. 障がい者の福祉

(1) 心身障がい者施設、団体への助成

心身障がい者福祉施設並びに団体の活動の充実に向けて利用者や会員の生活向上と相互の親睦、社会的理解の拡大等を目的に各種事業を助成している。

内容：団体等への助成、活動費補助他

(地域支援課)

(2) 生活福祉資金の貸付

障がい者世帯で、他から借入れが困難な人に対し、各種資金を低利で貸付けをしている。

(生活支援課)

(3) 車いすの貸出

障がい者の在宅生活の利便に供するため車いすを貸出しする。貸出期間は原則として2ヶ月。

	4	5	6
貸出件数	301	307	295

(ボランティアセンター)

(4) 年末たすけあい募金の配分

年末たすけあい募金を当事者団体に配分し、支援する。

	4	5	6
当事者団体数	8	11	10
配分額合計(円)	436,000	645,000	625,000

(地域支援課)

大和市社会福祉協議会

(5) 日常生活自立支援事業(大和あんしんセンター)

日常生活を営むうえで支障がある認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者等の権利擁護を図り、地域での自立した生活を送れるよう福祉サービスの適切な利用のための一連の援助を一体的に行うことを目的に、書類等預かりサービスと福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービスを行う。

ア. 書類等預かりサービス

預貯金通帳、証書等を銀行の貸金庫に保管するサービス。

イ. 福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス

福祉サービスの利用にかかる情報提供や、利用料金の支払い代行、生活費の払い戻しの代理(代行)等を行うサービス。

契約件数

(単位：件)

	4	5	6
書類等預かりサービス	7	6	7
福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス	28	31	33

(生活支援課)

(6) 法人後見事業(大和あんしんセンター)

家庭裁判所から後見等開始の審判を受けた高齢者、知的障がい者、精神障がい者に対し、市社協が成年後見人等となり、福祉サービス利用契約や日常的金銭管理等身上保護を中心とした日常生活の支援を行う。

受任状況

(単位：件)

	4	5	6
後見	6	7	7
保佐	4	4	5
補助	0	0	0

(生活支援課)

3. 高齢者の福祉

(1) 老人福祉団体への助成

シニアクラブの健全育成を図り、会員相互の親睦、教養の向上、健康の増進や地域社会との交流を深め生きがいのある豊かな老後を願い、各種の助成をしている。

内容：友愛チームへの助成、シニアクラブ連合会への助成

(地域支援課)

(2) ふれあいネットワーク事業(地区社協活動支援分)

ア. ふれあい訪問事業

地区社協が主体となって運営している事業で、地区内のひとり暮らしの高齢者にボランティアが定期的に訪問し、安否確認や簡易な相談に応じ、地域ぐるみでひとり暮らしの高齢者を支えている。

(事業説明及び実施状況は、「高齢者の福祉」81ページを参照)

(地域支援課)

イ. ミニサロン事業

地区社協が主体となって運営している事業で、地域内の高齢者が気軽に集い、健康増進や介護予防、地域交流を目的とした居場所づくりの活動である。

(事業説明及び実施状況は、「高齢者の福祉」81ページを参照)

(地域支援課)

ウ. 個別支援事業

地区社協が主体となって運営している事業で、高齢者や障がいをもつ人がかかえる生活上のちょっとした困りごとに、地域のボランティアが支援を行う事業である。

(事業説明及び実施状況は、「高齢者の福祉」81ページを参照) (地域支援課)

(3) 生活福祉資金の貸付

ねたきりや認知症等介護を要する高齢者のいる世帯で、他からの借入れが受けられない世帯に、各種資金を低利で貸付けをしている。

(生活支援課)

(4) 理髪サービス事業

在宅のねたきり高齢者及び起居動作が著しく困難な障がい者等を対象に、理髪店の協力により、清潔で明るく毎日を送れるよう、理髪サービスを行っている。

	4	5	6
実施者数	463	505	495

(ボランティアセンター)

※理髪サービス事業は、令和6年度まで生活支援課

(5) ふれあいネットワーク事業 (ひまわりサロン運営支援分)

地域住民の交流(ふれあい)を通して、健康で生き生きとした生活が送れるようにすることを目的として事業を実施している。

実施日時 各会場により設定

原則として午前10時半～午後2時

実施場所 市内各コミュニティセンター、自治会館の計16か所

運営体制 市社協ケアワーカー、看護職、ボランティア等(各会場)

利用者負担 1回500円(昼食代)

(事業説明及び実施状況は、「高齢者の福祉」78ページを参照) (地域支援課)

(6) 日常生活自立支援事業 (大和あんしんセンター)

(事業説明及び実施状況は、326ページを参照) (生活支援課)

(7) 法人後見事業 (大和あんしんセンター)

(事業説明及び実施状況は、326ページを参照) (生活支援課)

4. 児童・母子の福祉

(1) 交通遺児等援護金の支給

交通遺児及び交通事故により保護者が重度の障がいを負った20歳未満の児童に対する援護事業として、見舞金及び激励金を支給している。激励金については、小・中学校入学時、中学校・高等学校卒業時、20歳到達時に支給している。

実施状況

		4	5	6
激励金	件数	0	0	0
	金額(円)	0	0	0
見舞金	件数	0	0	0
	金額(円)	0	0	0
合 計 (円)		0	0	0

(総務課)

※交通遺児援護金の支給は、令和6年度まで生活支援課

(2) 生活福祉資金の貸付

低所得世帯等で、高校・大学・専修学校等に入学する際の支度費、授業料等就学に必要な貸付けを行う。
(生活支援課)

(3) 母子福祉団体への助成

会員相互の交流を深め、生活の向上と母子福祉の充実を目的として、大和市母子寡婦福祉会へ助成している。
(地域支援課)

(4) 年末たすけあい募金の配分

年末たすけあい募金を当事者団体に配分し、支援した。

	4	5	6
当事者団体数	2	2	2
配分額合計(円)	121,000	130,000	140,000

(地域支援課)

5. 低所得者の福祉

(1) 緊急生活資金貸付

生活のつなぎ資金又は緊急出費の場合に限り、無利子で貸付けをしている。

実施状況

		4	5	6
貸付	件数	19	18	25
	金額(円)	149,500	156,000	199,000
償還	件数	22	24	33
	金額(円)	124,500	165,000	178,500

(生活支援課)

(2) 生活福祉資金貸付

低所得世帯に対し、生業資金、療養資金等を低利で貸付けをしている。また、離職等により日常生活全般に問題を抱え、生活の立て直しのために一定の期間生活費を貸付けしている。

(生活支援課)

(3) 行旅人旅費等の援助

本市生活保護の対象とならない行旅人等が旅費等を持ち合わせていない場合に援助する。

取扱件数

	4	5	6
件数	3	3	2

(生活支援課)

(4) 生活困窮者自立支援事業

離職や失業などにより、生活困窮する世帯・個人に対し、生活保護に至る前の段階で生活再建することを目的に、相談支援、就労支援、住まいの支援等、支援プランを作成しながら、相談者の自立の援助を行う。

(実績は、「低所得者の福祉」99 ページを参照)

(生活支援課)

(5) 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業

緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付を利用済みでこれ以上の借入れが不可能であって、かつ一定の資産・収入要件等を満たす世帯に対し、給付金の支給を行う。令和4年度末に事業を終了した。

(実績は、「低所得者の福祉」100 ページを参照)

(生活支援課)

6. 地域福祉

(1) 地区社協育成・支援事業

『小地域において地域住民が主体となって参加できる活動の場づくり』を目標として、市内を11地区に分割して組織されている地区社協の運営並びに活動が、より充実したものになるよう活動費の助成や職員による情報提供及び関係者の連絡会や研修事業等を行っている。

① 地区社協活動費の助成

地区社協の活動費として、年末たすけあい配分事業、地区社協運営事業、ミニサロン運営事業、ふれあいネットワーク事業（ふれあい訪問事業・ミニサロン事業・個別支援事業）、地区ボランティアセンター運営事業、地区社協周年事業への助成を行っている。

② 市社協会員会費の還元

地区社協の活動費として、市社協会員会費を還元（一般会費・特別会費は40%、賛助会費は60%）している。

③ 市社協担当職員による支援

市社協と地区社協とが連携して活動が行えるよう、市社協では地域支援担当職員が情報提供等しながら地区社協活動を支援している。

④ 地区社協リーダー等を対象にした連絡会・研修会の実施

市社協では各地区社協相互の情報交換や学習及び研修の場として、地区社協部会、地区社協リーダーセミナー、地区社協ボランティア講座等を実施している。

大和市社会福祉協議会

⑤ 各種情報の提供

地区社協活動を進めるための情報提供や活動の手引きとして、「住人十色のまちづくり～地区社協の概要～」を作成・発行し関係者へ配布している。

地区社協の状況

地 区 名	設 立 年 月	主 な 活 動 拠 点	主 な 活 動 内 容
下鶴間つきみ野地区	昭和 54 年 4 月	下鶴間つきみ野地区社協 拠 点 事 務 所	ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業、ひとり暮らし高齢者交流事業、個別支援事業、ミニサロン事業 他
中央林間地区	昭和 56 年 5 月	コミュニティセンター 緑 野 会 館	ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業、ひとり暮らし高齢者交流事業、ミニサロン事業、子育て支援事業、ちよいボラ(個別支援) 他
南林間地区	昭和 59 年 9 月	コミュニティセンター 南 林 間 会 館	ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業、健康・医療講演会、歩け歩け運動、ミニサロン事業 他
鶴間地区	昭和 57 年 3 月	コミュニティセンター 鶴 間 会 館	ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業、敬老のつどい、親子野外ふれあい体験、ミニサロン事業、お休み処、個別支援事業 他
深見大和地区	昭和 60 年 12 月	コミュニティセンター 深 見 中 会 館	ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業、ひとり暮らし高齢者会食、障害者地域作業所との交流事業、ミニサロン事業、個別支援事業 他
上草柳地区	平成元年 3 月	コミュニティセンター 桜 森 会 館	ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業、やすらぎと緑のふれあいまつり、親子野外炊事ふれあい体験、ふれあいどんど焼き、ミニサロン事業、個別支援事業 他
中央地区	昭和 59 年 3 月	コミュニティセンター 下 草 柳 会 館	ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業、敬老のつどい、ミニボラ(個別支援)、寝たきり高齢者介護者慰問訪問、ミニサロン事業 他
桜丘地区	昭和 58 年 3 月	地区ボランティアセンター (金毘羅神社)	ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業、敬老のつどい、ミニサロン事業、地区ボランティアセンターの運営、福祉体験教室、個別支援事業 他
和田地区	昭和 63 年 4 月	渋谷学習センター	ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業、ひとり暮らし高齢者おせち料理配食、ミニサロン事業、個別支援事業 他
福田北地区	昭和 59 年 12 月	福田北地区地域ボランティアセンター	ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業、ミニサロン事業、障害者余暇活動支援、個別支援事業 他
渋谷西地区	昭和 58 年 12 月	コミュニティセンター 下 福 田 会 館	ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業、サマーキャンプ、障害者地域作業所との交流会、渋谷西おたすけ隊(個別支援) 他

(地域支援課)

(2) 広報調査活動

地域住民の社会福祉に対する理解と関心を深めるための普及、宣伝、関係機関との連絡調整及び調査研究事業を行っている。令和6年度は「やまとボランティアセンター公式LINEアカウント」「やまと社協だより配信用公式LINEアカウント」を開設した。

(地域支援課)

(3) 年末たすけあい募金の配分

年末たすけあい募金をボランティア団体や福祉活動に取り組む市内小中学校、福祉系特定非営利活動法人、その他に配分し、支援する。

	4		5		6	
	配分先	金額(円)	配分先	金額(円)	配分先	金額(円)
公私立学校	23校	1,378,000	24校	1,420,000	23校	1,292,000
ボランティアグループ	21団体	1,273,000	23団体	1,236,000	20団体	1,233,000
特定非営利活動法人	11団体	550,000	11団体	550,000	13団体	647,000
その他	—	—	1団体	50,000	1団体	50,000
合計(円)		3,201,000		3,256,000		3,222,000

(地域支援課)

(4) 成年後見制度利用促進事業

認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が充分でない人が成年後見制度を適切に利用できる仕組みづくりをすすめるとともに、地域住民が後見業務の新たな担い手(市民後見人)として活動できるよう支援し、成年後見制度の利用促進を図るため、中核機関である「大和市成年後見支援センター」の運営を行う。令和6年4月に事業を開始した。

(実績は、「社会福祉」161ページを参照)

(生活支援課)

大和市社会福祉協議会

(5) 地域福祉セミナーやまとの開催

毎年年度末に、住民や福祉関係者等（自治会関係者、地区社協関係者、民生委員児童委員、ボランティア、福祉施設関係者、保健医療福祉の関係者）が集い、様々な地域福祉活動実践から福祉課題を出し合い、学び合い、相互に現状を確認する場として実施している。

実施日 3月9日

会場 大和市保健福祉センター1階ホール

テーマ 「みんなの地域の宿題としての地域福祉」

～第7次地域福祉活動計画活用した取組みへの期待～

基調講演：地域福祉～いま「地域の宿題」となっていること～

講師：神奈川県立保健福祉大学 社会福祉学科

保健福祉学研究科 教授 中村 美安子 氏

実践報告①：認知症の本人も活動に加わるチームオレンジの活動について

報告者：下鶴間つきみ野地域包括支援センター センター長 佐藤 久美子 氏

実践報告②：外国人労働者への支援から生まれる地域支援

報告者：社会福祉法人大和清風会 サンホーム鶴間 理事長 天野 宏一 氏

参加者 288人

(地域支援課)

(6) ボランティアセンター事業

ボランティアの育成と活動の支援を目的として、ボランティアセンターはボランティア活動・交流の場を提供すると共に、市民のボランティア意識の高揚とボランティア活動の振興を図るため、学習の機会と情報の提供、ボランティアグループおよび当事者組織への支援を行っている。

① ボランティア登録状況

ボランティア活動に対する市民の関心も高まっており、ボランティアセンターを拠点として多くの個人登録者やグループが活動しているほか、地区社協や福祉施設でも未登録ボランティアが様々な活動に取り組んでいる。

ボランティア活動状況

		4			5			6		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
個人	新規登録者数	18	28	46	14	24	38	15	32	47
	登録者数	106	179	285	109	177	286	111	203	314
団体	登録グループ数	43			41			40		
	ボランティア数	217	706	923	213	690	903	170	602	772

② ボランティア・コーディネーターの設置

日常生活の中で援助を必要としている人（当事者）と対応して活動ができる人（ボランティア）との間にあって、相談・調整するパイプ役としてコーディネート業務を行っている。

ボランティア依頼者種別

	4	5	6
高齢者	670	579	398
身体障がい	444	382	359
知的障がい	300	223	54
精神障がい	15	3	10
発達障がい	688	415	280
児童	2	5	13
社会福祉施設	58	336	464
市社協・地区社協	152	219	339
当事者団体・ボランティアグループ	97	133	133
行政	25	6	7
一般・その他	67	14	8
合 計	2,518	2,315	2,065

相談支援内容

	4	5	6
通園通学付添介助	1,044	652	379
通院通所付添介助・外出支援	328	259	193
保育・障害児支援	20	8	7
施設・個人宅での生活身辺介助	661	574	415
施設・個人宅での話し相手（傾聴）	61	65	70
施設・個人宅での趣味・余暇活動支援	21	64	163
手話・点訳・朗読等の技術・学習支援	0	3	20
住宅の維持修繕・草むしり等営繕活動	57	31	24
社会福祉施設・団体利用者支援	255	514	474
市社協・地区社協事業支援	30	104	263
そ の 他	41	41	57
合 計	2,518	2,315	2,065

大和市社会福祉協議会

③ 各種講座・つどい・研修会等の開催

ボランティア活動に関する基礎的知識の普及や活動に対する理解を深めるとともに地域活動へ参加を促すため、各種の講座等を開催している。

事業内容と参加人数（令和6年度）

		回数	参加者	内 容
講 座	手 話 入 門 講 座	全 40	26	聴覚障がい者との交流と理解、手話の初歩的な技術の取得を目的に実施。
	手話通訳者養成講座 ①ブラッシュアップコース ②統一試験対策コース	①全 30 ②全 25	①11 ② 3	手話通訳者を目指す人を対象として、手話技術向上と通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの試験対策として実施。
	こもりびとの居場所サポーター養成講座	5	延べ 138	こもりびとの基本的な理解とかわり方を学び、ささえあいの居場所でのサポーターとしての活動を促すことを目的として実施。
つ ど い 等	さ っ さ え あ い の 居 場 所	11	延べ 79	こもりびとの居場所参加者の作業をしながら集える場所として実施。
	ボ ラ ン テ ィ ア 交 流 会	1	23	日頃のボランティア活動に対する労いと資質向上を図ることを目的として実施。
	福祉の魅力を伝えるプロジェクト	4	10	福祉の魅力を伝えるための取組みと人材養成を目的として、市内高齢者福祉施設の若手職員が定期的に集まり、意見交換を実施。

④ 福祉映画・ビデオ等福祉教育教材の貸出し

地域住民の社会福祉に対する理解と関心を深めるため、福祉映画・ビデオ等の福祉教育教材を貸し出している。

⑤ 青少年福祉教育推進

中・高校生を対象に、福祉施設での体験や障がいをかかえる人との対話、具体的な援助の仕方を学びながら福祉問題の正しい理解とボランティア活動参加へのきっかけの場とする。

事業名（令和6年度）

	実施時期	実施場所及び内容
中高生 保育入門講座	7月～8月	講義、保育園での保育体験、体験内容の意見交換・交流など
夏休み福祉体験 チャレンジ学習	7月～8月	福祉施設やボランティアグループでの活動体験、体験内容の意見交換・交流など
学校内福祉教育 支 援	6月 26日	福田小学校4年生 : 手話学習
	7月 2日	大和東小学校4年生 : 手話学習
	7月 5日	柳橋小学校4年生 : 視覚障害についての講演会
	9月 4日	柳橋小学校4年生 : 点字学習
	9月 19日	柳橋小学校4年生 : 手話学習
	10月 15日	林間小学校4年生 : 車いす体験学習
	10月 21日	中央林間小学校4年生 : 手話学習
	10月 29日	柳橋小学校4年生 : 車いす体験学習
	10月 31日	大和東小学校4年生 : 車いす体験学習
	11月 1日	草柳小学校4年生 : 手話学習
	11月 1日	中央林間小学校4年生 : 視覚障害についての講演会
	11月 11日	深見小学校4年生 : 点字学習
	11月 12日	林間小学校4年生 : 手話学習
	11月 15日	草柳小学校4年生 : 車いす体験学習
	12月 6日	光丘中学校2年生 : 視覚障害についての講演会
	1月 21日	引地台小学校4年生 : 車いす体験学習
	2月 25日	下福田中学校3年生 : 高齢者疑似体験・車いす体験学習
3月 6日	光丘中学校3年生 : 手話学習	
3月 13日	桜丘小学校4年生 : 視覚障害についての講演会	
3月 24日	上和田中学校1年生 : 手話学習	

(ボランティアセンター)

(7) 緊急援護実施事業

火災による罹災者及び地震、風水害などの自然現象によって生じた災害被災者に対し、見舞金及び弔慰金の給付を行っている。

(単位：件)

	災害区分	4	5	6
見舞金	全焼・全壊・流失	0	1	2
	半焼・半壊	0	3	0
	重傷	0	0	0
	床上浸水	0	0	0
弔慰金	死亡	0	0	1

(総務課)

※緊急援護実施事業は、令和6年度まで生活支援課

大和市社会福祉協議会

(8) 物品貸出事業

市内の学校及び自治会、社協特別会員・種別会員等に対し、綿菓子機などレクリエーション活動等に必要な物品の貸出しを行っている。

(単位：件)

	4	5	6
綿菓子機	12	9	17
かき氷機	5	4	7
テント	2	2	3

(ボランティアセンター)

(9) 災害ボランティアセンター運営関連事業

令和6年度は、隔年で開催している「災害ボランティアセンター運営スタッフフォローアップ研修」を開催し、運営スタッフの資質向上を図った。

また、運営スタッフによる自主活動の支援や、大和市等の主催する災害関係事業等に参加した。

- a 「令和6年能登半島地震」能登町災害ボランティアセンター運営支援
5月28日～6月1日／能都サテライト
- b 災害ボランティアセンター運営スタッフフォローアップ研修
7月21日／渋谷学習センター
 - ・大和市における避難生活施設の運営について
 - ・令和6年能登半島地震「能登町災害ボランティアセンター」運営支援報告
- c 災害ボランティアセンター設置運営訓練（市社協職員研修・災害VC運営スタッフスキルアップ研修）
11月30日／保健福祉センター
 - ・災害ボランティアセンター運営支援システム「JoyLinks」を導入した訓練
- d 災害ボランティアセンター運営スタッフ会議
3月16日／保健福祉センター
 - ・防災フィールドワークの振り返り
 - ・災害ボランティアセンター設置運営訓練の振り返り
 - ・令和6年度災害ボランティア運営関連事業の報告並びに令和7年度予定事業の紹介
 - ・令和7年度自主活動の紹介

e 大和市等の主催する災害関係事業等への参加・協力

① 大和市災害関係ボランティア団体等交流会（市民活動課主催）

第1回 6月28日 第2回 10月4日 第3回 12月11日

② 大和市福祉の日の集い（大和市福祉推進委員会・大和市社協共催）

10月12日／保健福祉センター

・パネルディスカッション「令和6年能登半島地震に学ぶ災害と福祉」

③ 防災フェスタ2024 with 消防体験フェスティバル（危機管理課主催）

11月16日／引地台公園

・交流会メンバーPR出店

（大和市社会福祉協議会、大和市災害救護赤十字奉仕団、大和市赤十字奉仕団）

④ 大和市防災とボランティア展（市民活動課主催）

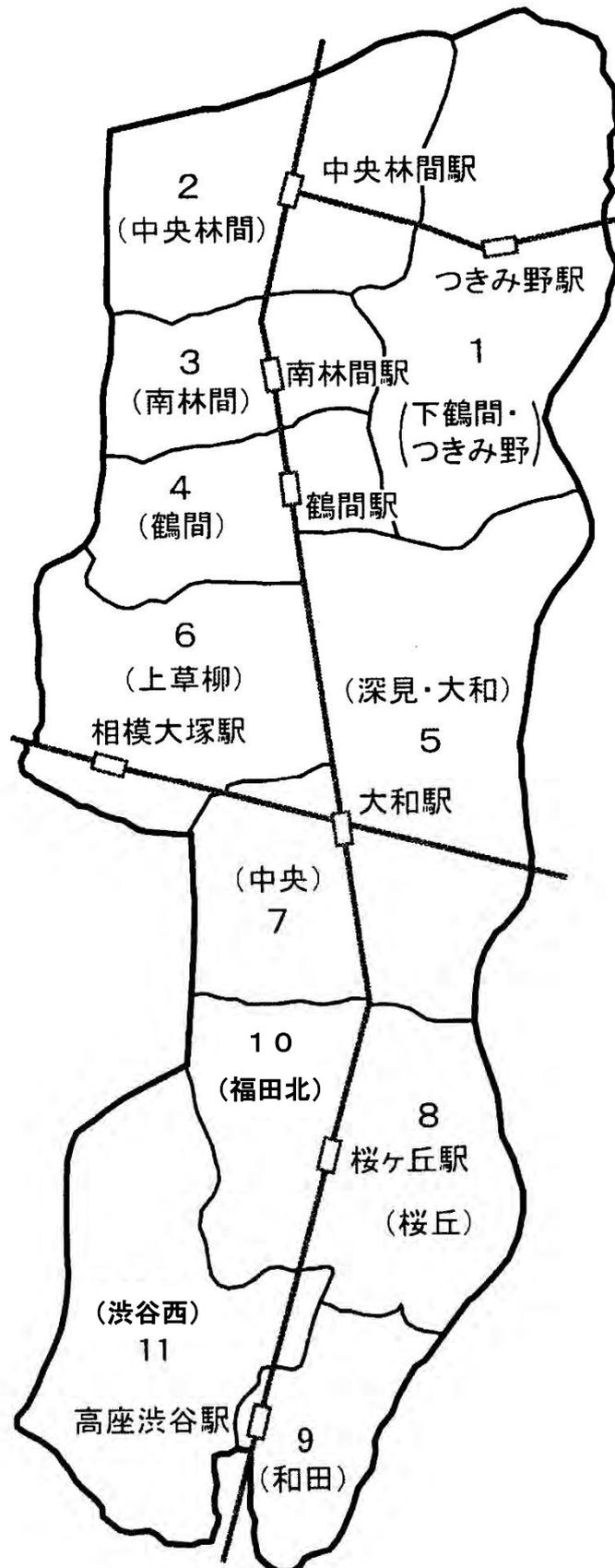
1月17日、1月18日／シリウス・ギャラリー

・交流会メンバーPR出店

（大和市社会福祉協議会、大和市災害救護赤十字奉仕団、大和市赤十字奉仕団）

（地域支援課）

(10) 地区社協区割図

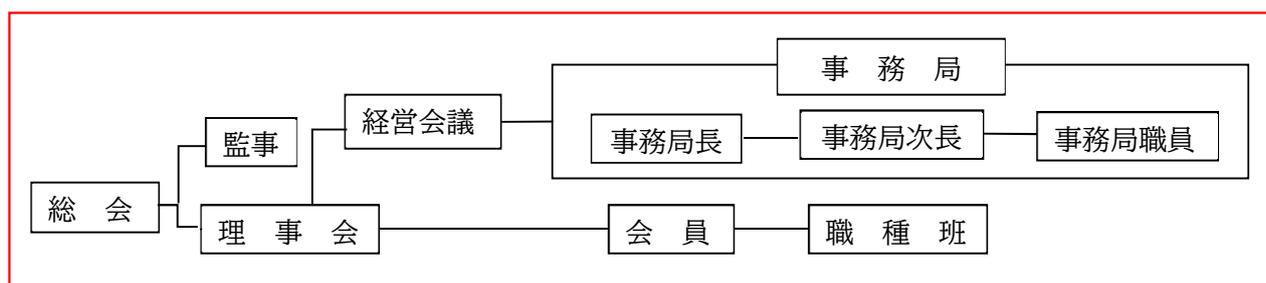


1. 公益社団法人 大和市シルバー人材センター

公益社団法人大和市シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、急速に進展する高齢社会に対応するため、定年退職後等において何らかの就業を通じて自己の労働力を活用し、自らの生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者に、地域に密着した臨時的かつ短期的な仕事を組織的に提供することによって、高齢者の就業機会の増大と福祉の増進を図ることを目的としている。

また、センターは「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」により、県知事から指定を受けた公共的・公益的団体である。（昭和56年4月「大和市高齢者生きがい事業団」として設立後、平成2年4月社団法人として発足したものである。その後、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」による公益認定を受け、平成24年4月から公益社団法人に名称を変更した。）

(1) 組織



(2) 施設所在・規模

所在地 大和市深見西一丁目2番17号 市民活動拠点ベテルギウス1階

(3) センターとは

- ① 雇用関係でない何らかの就業を通じて、自己の労働能力を活用し、追加的収入を得るとともに、地域社会に貢献し、自らの生きがいを見い出そうとする健康で働く意欲のある高齢者会員に対し、仕事を提供する団体であり、営利を目的とはしない。
- ② センターが、企業・一般家庭・公共団体等から依頼された会員にふさわしい仕事を引き受け、各会員が経験・技術等に応じて携わっていくものである。
- ③ 市内に居住し、60歳以上であれば入会（登録）できる。
- ④ 仕事に対する対価（配分金・材料費・事務費等）は、センターが受け取り、配分金を会員に支払うものである。
- ⑤ センターと会員及び会員と企業との相互の雇用関係は無いが、仕事から生じた責任はセンターが負うものである。

大和市シルバー人材センター

(4) 事業実績

男女別、年齢階層別会員状況

		4		5		6	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
男女別	男	677	70.2	633	68.5	630	68.1
	女	287	29.8	291	31.5	295	31.9
	合計	964	100.0	924	100.0	925	100.0
年齢階層別	60～64	35	3.6	29	3.1	28	3.0
	65～69	140	14.5	119	12.9	118	12.8
	70～74	307	31.9	253	27.4	226	24.4
	75～79	291	30.2	324	35.1	336	36.3
	80歳以上	191	19.8	199	21.5	217	23.5

平均年齢と最高年齢

		4	5	6
平均年齢(歳)	男	75.5	75.9	76.1
	女	73.7	74.5	75.0
	全体	74.9	75.5	75.7
最高年齢(歳)	男	93	93	94
	女	86	88	87

職群別事業実績

	4		5		6	
	受注件数	契約金額(円)	受注件数	契約金額(円)	受注件数	契約金額(円)
技術群	389	9,400,491	384	9,378,380	322	8,313,637
技能群	1,331	36,250,578	1,270	36,035,717	1,146	34,209,675
事務整理群	48	1,671,327	42	1,495,862	44	1,160,331
管理群	537	109,546,425	585	126,607,036	608	136,407,549
折衝外交群	31	2,638,568	23	837,372	24	108,240
一般作業群	4,175	209,449,381	4,186	216,528,981	4,166	221,508,320
サービス群	435	11,805,761	450	12,951,706	430	12,176,656
合計	6,946	380,762,531	6,940	403,835,054	6,740	413,884,408

※ 職種内容

- 技術群＝ パソコン講師・運転等
- 技能群＝ 植木・塗装・障子等
- 事務管理群＝ 毛筆筆耕等
- 管理群＝ 建物管理・屋外施設駐車場管理等
- 折衝外交群＝ チラシ配り等
- 一般作業群＝ 除草・清掃・軽作業
- サービス群＝ 家事サービス・包丁研ぎ等

発注区分別事業実績

		4	5	6	
公共・市	受注件数	279	325	292	
	契約金額(円)	配分金	61,657,062	67,035,195	70,031,925
		事務費	54,957,725	58,815,361	61,819,390
		材料費	4,389,846	5,872,067	6,171,528
		その他	2,309,491	2,347,767	2,041,007
			0	0	0
	就業実人数	—	—	—	
就業延べ実人数	11,230	12,062	11,988		
企業	受注件数	3,404	3,436	3,368	
	契約金額(円)	配分金	252,598,970	268,863,793	273,552,317
		事務費	232,140,504	242,775,331	247,170,823
		材料費	18,467,783	24,149,606	24,600,215
		その他	1,990,683	1,938,856	1,781,279
			0	0	0
	就業実人数	—	—	—	
就業延べ実人数	59,766	60,964	59,865		
一般家庭	受注件数	3,263	3,179	3,080	
	契約金額(円)	配分金	66,506,499	67,936,066	70,300,166
		事務費	56,029,234	56,553,896	58,587,137
		材料費	4,423,688	5,574,993	5,784,574
		その他	6,053,577	5,807,177	5,928,455
			0	0	0
	就業実人数	—	—	—	
就業延べ実人数	15,138	15,317	15,574		
合計	受注件数	6,946	6,940	6,740	
	契約金額(円)	配分金	380,762,531	403,835,054	413,884,408
		事務費	343,127,463	358,144,588	367,577,350
		材料費	27,281,317	35,596,666	36,556,317
		その他	10,353,751	10,093,800	9,750,741
			0	0	0
	就業実人数	770	771	772	
就業延べ実人数	86,134	88,343	87,427		